

福島のぶゆき国会日誌

〈“ギャンブル依存症”に関する質疑に立ちました！〉  動画をチェック！



3日、厚生労働委員会と農林水産委員会にダブルヘッダーで質疑に立ちました。厚生労働委員会では、ギャンブル依存症について議論いたしました。傍聴席には地元茨城県のギャンブル依存症家族の会の皆さんと、同級生の親子にいらしていただきました

ギャンブル依存症は、個人のだらしのない性格などのせいとされがちですが、WHOも定める精神疾患としての病気です。昨今オンラインでのギャンブルにはまる人が増えていますが、まだまだこのことが知られていないため、誰にどのように相談したらいいのかわからない家族の方が多くいらっしゃいます。このことを普及啓発するとともに、治療体制の充実整備を求めました。

〈“農政”に関する質疑に立ちました！〉  動画をチェック！

3日、農林水産委員会では、食料・農業・農村基本法改正法案について。この法律の前身となる農業基本法の制定時には、当時の池田勇人首相が全国運動の最初の訪問地を選んだのが水戸です。

演説では、【私は小学校のとき水戸藩主斉昭公のあの農人形の話をお聞き、今いろいろ思い出したのでございます・・・水戸学は、単に国体論とかあるいは武士道の勉強ばかりではございません。この斉昭公の気持ちが大日本史の編纂をいたさしめ、またこの気持ちが荒廃する農村を復興させたのでございます・・・農人形を考えて、農政問題はまず第一に水戸においてやるべきだ、ということをお私に考えたのであります】と語っています。

池田首相は、「だれかが農業問題を解決しなければ日本民族は伸びていかない」、「農業基本法は、日本の新しい国造りをするもの」と訴えました。残念ながら、今回の法改正には、このような日本の農業に対する危機感やその再興への熱を感じる事ができません。私の農政に賭ける思いを坂本大臣にぶつけさせていただきました。

私の国会での活動は、すべて故郷と共にあります。



〈“物流の2024年問題”に関する質疑に立ちました！〉  動画をチェック！



5日国土交通委員会で、「物流の2024年問題」について、参考人（全日本トラック協会の馬渡副会長、敬愛大学特任教授の根本先生、全日本運輸産業労組の成田中央執行委員長、立教大学教授の首藤先生）の方からご意見を聴取し、それに対する質疑に立ちました。

4人の参考人の方々の明確なご答弁から、来週水曜日の法案審議での参考になる知見をいただきました。これから、法案の条文を読み込み、質問を練り上げていきます。ぜひ法案審議にご期待ください。

〈国連パレスチナ難民救済機関（UNRWA）の事務局長訪日〉

先月の29日、来日したラザリーニUNRWA（国連パレスチナ難民救済機関）事務局長の話を、超党派の議連で聞いてきました。おそらく日本政府からのUNRWAへの資金供与再開への一つのステップなのでしょうが、今回の日本政府の対応には何とも割り切れない思いが残ります。

私たち超党派議連の動きは、パレスチナにも伝わっているという。遠い関係ない国の話として、目をそらしたり、何も行動しないことは、共犯者になることと同じです。

